

「千葉の山の砂を運んでつくった砂浜から運んでつくった砂の山のある(あ)の場所がほんとうの砂浜、昔々」

### 昔々、

山に、おくないのの おくい町がい はなくなって、 つ な ぐ と で 。 そ し い た 海 岸 こ 岸転 を土たテ てた岩ポ がつトばなり出。ラさ景 運っ道 んでていがひ れるが 店ま にが ゕ゚ そごト をご 並 かれ 海ろん らた ってのぐ 。 ツ て が だ海 。 道遠分 とつ増て。そ Ш 延ぐ もて れ色 のい

ここからどこかへいこうというとき、山を越えないとなにもないし、越えようという気になかなかなれず、 それで終いには海につくので、やっぱり砂浜がなければいけない。

ばい けない。
テトラボットをどかして、千葉の山から砂を運んだ。
船で、というはなしも聞く。そもそもある熱海は、というはなしも間の自身の中にあらいて。わたみもとあいうあらゆるおだとみものでつくられた。

完成した砂浜は、どちらかというとと大きめの砂場のようになみえて、椰子の木はひとつかとつが個性的では変きがなったと思う。わざわざっ、こうして他所の人間が好き勝手を許されている。

の各なとのっれ こ庭の載感ま歴 こまが質たた ちてい誰数にいる努 たずらいる努 にいまなく になかられる。 妙今ら なで 域 り眠とでも逃で のとだてっそぞ 成もほ方に見け いのう事散し、うこそば み教 っんいき。な っん と書よ来く ら。とれる 教い なとた 、相さは

海 のコ歓迎 <u>\_</u> 足 に は がら。かっ な 雨 で こ決 ぼし ンさ クれ リて トる をよ 感思 なな こてたび 素うもそとナと受 飲部作立 熱っこを 選屋品ち 海ととみ いが 来 上た がび はは 見れ なたう に 出でらだるこ なこは 壊 。こスこきる はッなける な いま ま る Ļ١ こと 知の入もと にがきるち 入や何はて と渚をれて いや壊を感 うみだこ うきうな わとでの に立 と。 のだ 、かそい ゆると 。ここ町 U す引じ 、きた

わたしのような若い作家は、観光地ととうなの地域はの価値を補えるのだろうかならといいい。といいい。ならないいのはないとのないは、勝手にさせてくと他にかないとるう。でもそれが出来たら、きっとと豊かたろう。

(アタミアートウィーク2016報告冊子原稿より)

# AAWs

ア タ ミ ア ー ト ウ ィ ー ク 出 展 作 家 有 志 に よ る 東 京 サ テ ラ イ ト プ ロ ジェ ク ト

地域と断絶された空間のなかで、わたしたちの起こしたことは意味を成すのだろうか?

AAWsを通して、そばにいるときには見えにくいことや、距離を隔てても拭えないものを丁寧に観察し、考える機会とする。

わたしたちは熱海から帰っても、そこで起きたことについて考えることができるし、ここから熱海へ課題を持ち込むこともできる。

「アタミアートウィーク」は、主に東京の美大生・卒業生有志による、熱海の空き家や空き店舗を会場とした展覧会です。2012年より毎年春に開催され、2017年3月に5回目を迎えます。AAWsは、アタミアートウィーク2016出展作家の三枝愛を中心としたメンバーによる1年間の東京サテライトプロジェクトとして発足しました。

## サテライトスケジュール

○山の砂の砂の山 vol.1 2016.6.24 fri-26 sun 18:00-23:00

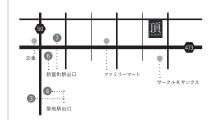
会場:参加[sanka] ※入場料500円(1drink付)

### WEB

tumb Ir: http://sankaitdk.tumb Ir.com

twitter : @sanka\_itdk

facebook : https://www.facebook.com/sankaitdk







### アクセス

104-0043 東京都中央区湊 3-5-2 頂ビル 1F 日比谷線「築地」駅徒歩 7 分、有楽町線「新富町」駅徒歩 6 分